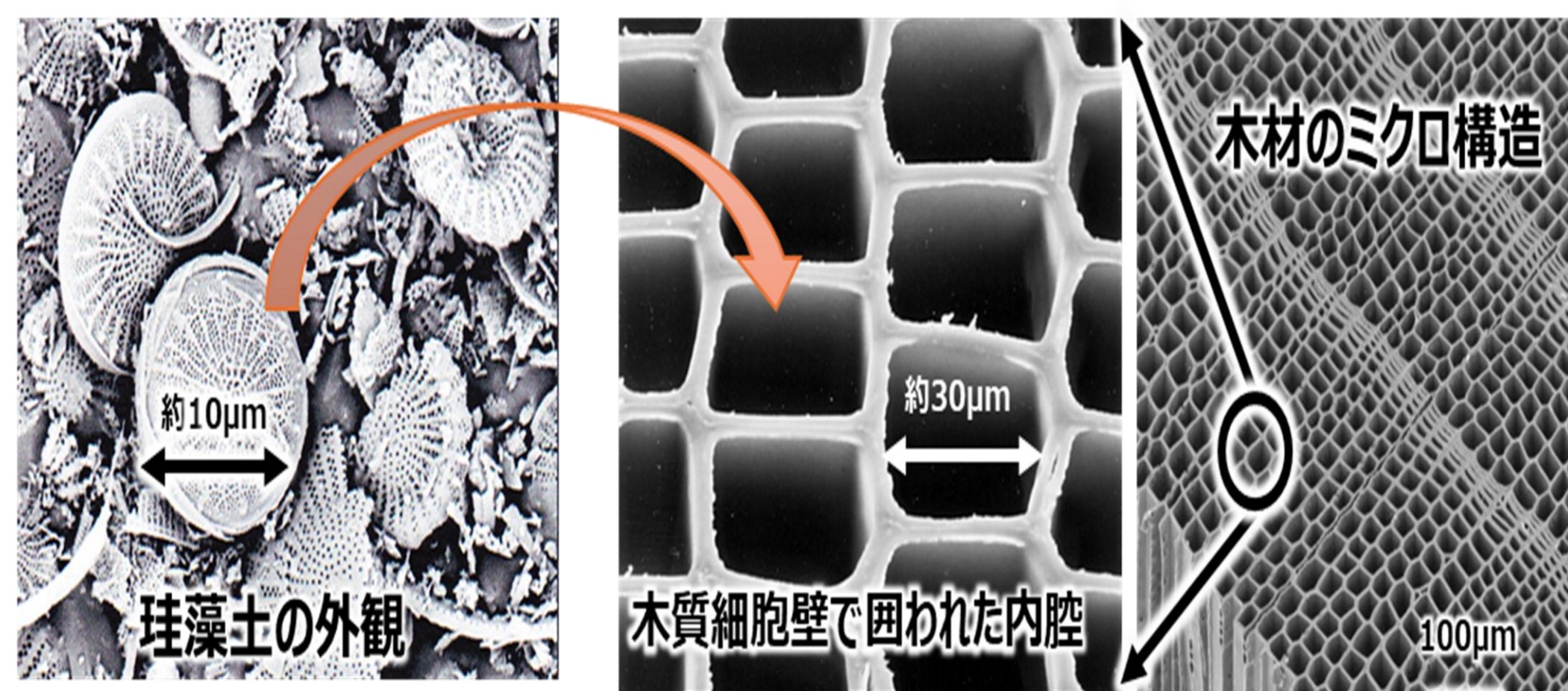


□概要

能登珪藻土粒を木材の中に入れ込む技術を開発し、調湿性（湿度の調整機能）と難燃性（燃えにくさ）を備えた木質内装用の複合材料を提供する。それにより、能登木材の利用を促進し、グリーン成長戦略に係る木造建築物の室内部材を提供することで、GXへの貢献を目指す。

□内容

【研究課題】



- 1) 能登珪藻土粒を能登のスギ、ヒバの仮道管（ $\phi 30\mu\text{m}$ 以下程度）構造に入れて、安定化させる方法
- 2) 調湿性と難燃性の両立

□期待される成果または展望

室内の木質内装に適した羽目板で、調湿性と難燃性を併せ持ち、価格が手ごろで、人にも自然にも優しい製品を提供する。

【研究内容】

- 1) 調湿性能の優れた珪藻土の粒子サイズ決定と調整方法の開発
- 2) 木の表面だけでなく内部まで珪藻土の粒子を沈着・固定する手法の開発
- 3) 珪藻土を含有した木質材料を集成材にするための接着方法の開発

連携体：石川県工業試験場
金沢工業大学
産業技術総合研究所



製品展開イメージ

調湿機能と
難燃機能を
付加

内装材や
羽目板等
へ展開

